

『よどふあるの友』は、淀協・ファルマHPH委員会と西淀川・淀川健康友の会が共に取り組むHPH活動について、様々な情報を発信したり、活動を報告するニュースです。名前は、淀協、ファルマプラン、健康友の会の名前と健康友の会の発行する『健康の友』にあやかりました。

第30回国際HPHカンファレンスを日本(広島)で初開催

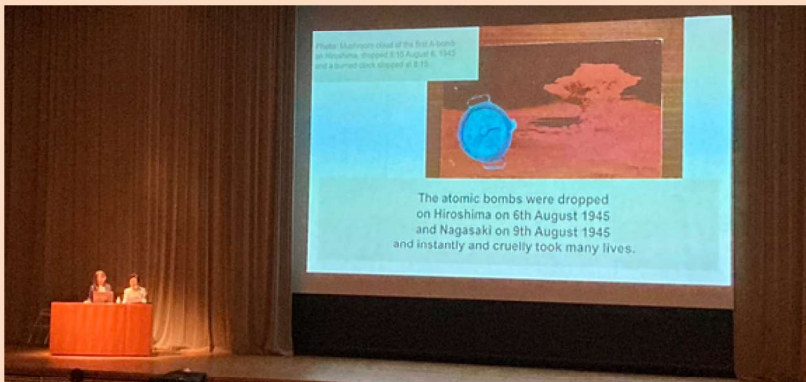
2024年11月6日(水)～8日(金)の日程で第30回国際HPHカンファレンスが初めての日本(広島)で開催され、海外から34か国・800人を超える方が参加しました。淀協・ファルマ・友の会からは、のべ25人が参加しました。

また、ポスターセッションは14演題、プレカンファレンス(GNTH禁煙ネットワーク)で野口医師(千北診療所所長)と福島医師(西淀病院院長)が英語で報告を行いました。パラレルセッションでも1演題(健診キャンペーン)英語での報告を行うなど、初日から3日目まで淀協・ファルマ・友の会の参加者が活躍し、国際カンファレンスの成功に寄与しました。



開会式では、2012年にアジア初開催(台湾)に続き2回目で、2015年にHPH国際ネットワークに加わった日本は、加盟組織が120を超え世界で2番目に多い組織になっていることが報告されました。

また、今年のノーベル平和賞受賞の「被団協」の事務局次長であり被爆者の児玉三智子さんが特別報告をされ、会場はスタンディングオベーションという歴史的で感動的な国際カンファレンスの幕があげました。



11/28(木)午後2時～

オンライン運動教室 毎月第四木曜日開催

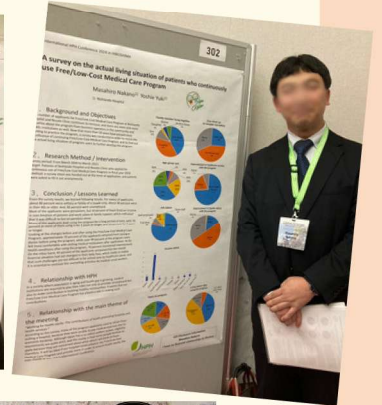
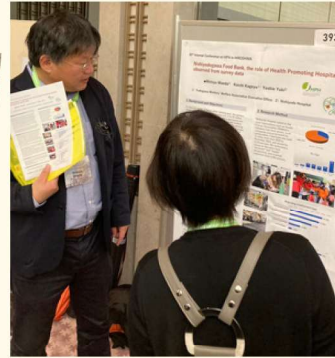
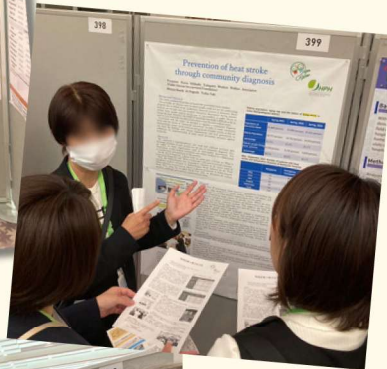


「何のための、誰のための、誰と一緒に、 誰が参加する活動にするか！」

淀協,ファルマ,
友の会 で **ポスターセッションに14演題**



3日間の国際カンファレンスの内容は、シンポジウム形式の「全体会」が5回、10分前後の報告と質疑形式の「パラレルセッション」が4回、「ポスターセッション」が3回、3分程度の報告と質疑形式の「ミニ口演セッション」が2回と軽食懇親会などがおこなわれました。



閉会式では、ポスターセッション444演題から投票により、3つの優秀賞が選ばれました。なんと、上位3つは台湾の作品になりましたが、日本HPH委員会からも日本の上位3作の表彰があり、野口先生の作品が見事第2位で選出されました。

野口先生が2位 表彰

また、千鳥橋病院長の船越先生が「来年は被ばく80周年。広島・長崎の悲劇を二度と繰り返さない平和の願いはヘルスプロモーションの実践。ノーモア広島、ノーモア長崎」とのメッセージで締めくくられました。



次回、第31回国際カンファは、**2026年5月にスウェーデンで開催**されることに決定しました。

毎月22日はスワンスワンの日

13:00~13:15

土日・祝日の場合は、次の平日に実施します。

※参加人数と拾った吸い殻の数を
ファックスにてお知らせください！

発行：〒555-0024
大阪市西淀川区野里3-5-22
淀協・ファルマHPH委員会
TEL (06)6471-0496(代表)



日本HPHネットワーク
Japan Network of Health Promoting
Hospitals & Health Services



HPH2024年アンケート